



入間ロータリークラブ



Club Bulletin

- 2014-2015 R I 会長：ゲイリー・C. K. ホアン
- R I 第 2570 地区ガバナー：坂本 元彦
- 会長：加藤 国夫 幹事：滝沢 文夫
- 例会日：木曜日 12：30～13：30
- 例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケットホール
Tel. 04-2963-1111

- 会報委員長：石川 嘉彦 ■ 当番：水村 雅啓
- 事務所：〒358-0023
入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号
Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第 40 号 2861 回例会 2015 年 4 月 16 日 (木)

●会長の時間

加藤国夫会長

先週の例会は馬路会員「曹洞宗・長徳寺」にて「説法と坐禅例会」を行い、多数のご出席を頂き誠に有難うございました。前日降った雪のため寒い一日でしたが、馬路会員には早朝からご準備頂き、食事を頂く部屋、また本堂ともに温かく心地よい雰囲気にお包まれ、しばし、心癒され落ち着いた時を過ごすことができました。食事後の法話に続いて、ゆったりした時間の中で「坐禅会」を終了する事が出来ました。馬路会員には、改めて御礼を申し上げます。私たちは、忙しすぎる現代こそ、あえてこのようなゆったりした時間を作り出す事に意義があると思います。今後も、このような例会が続くことを念じて居ります。

来週 21 日(火)ですが、「入間 C・入間南ロータリークラブ合同例会」・(夜間・「入間南 RC 担当」) 振替になっております。例会日をお間違えの無いようご注意ください。又 4 月 30 日(木)は「クラブ定款第 6 条第 2 節(C)により例会取り止め」となっております。

今月から 5 月にかけては変則的な例会となっております。5 月 14 日は入間ロータリークラブ創立 55 周年記念例会となっております。先の 50 周年(半世紀を祝う会)として大体的に済ませておりますので、今回の 55 周年記念は、ごく内輪にて、この 5 年間をトータルとして、日頃からロータリー活動に多大なご理解ご協力を頂いている、ご家族の皆さんとご一緒に親睦をはかりながら、ロータリーをご家族と一緒に楽しみましょう、と言う事でこの企画を立てさせていただきました。会員の皆様、又ご家族の皆様方には多数のご出席を頂き、歴史と伝統のある入間ロータリークラブが今後、ますます発展して参りますようご協力お願い申し上げます。

回覧にもありますように、田中龍夫入間市長、はじめ沼崎第三 G ガバナー補佐、入間南ロータリークラブ会長、幹事をご招待しての 55 周年記念です。

最後に、ポリオワクチン開発「(4 月 12 日) 60 周年記念すべき日」の記事についてプリントしましたのでご覧いただきたいと思ひます。

●幹事報告

滝沢文夫幹事

1. 本日 4/16 吉沢会員が FM チャッピーに出演します。是非お聞きください。
2. 4/19 地区研修協議会参加の方、9：30 頃に到着予定でお願いします。
3. 4/23 の例会は、4/21 入間南クラブとの合同移動例会になります。
4. 4/30 例会は取り止めになります。
5. 次回例会会場使用は 5/7 になります。
6. 5/14 は 55 周年記念になります。会員、ご家族の出席をお願いします。
7. 4 月のロータリーレート \$1 = ¥118
8. 財団への寄付金ポリオ \$10、パーマネントファン \$15 を 4/20 を目処に送金予定です。

●粕谷康彦エレクト

次期会長の報告会を、20 日やまきにて 6 時半から行いますので出席よろしくお祈りいたします。

●委員長報告

会員増強委員会

晝間和弘委員長

本日 6 時半より増強委員会の家庭集会を行いますので出席を宜しくお祈り致します。

<出席報告>

田中快枝委員長

会員数	出席数	出席率	前々回修正率
39 名	25 名	65.8%	71.8%

事前欠席連絡 4 名

(本日お手元に各自の出席表お配りしています)

<ニコニコBOX>

晝間和弘副 SAA

加藤国夫君～先週の坐禅例会には多くの皆様の参加と馬路会員にはお世話になり、ありがとうございました。晝間和弘君、後藤健君～繁田さん卓話楽しみにしています。関根靖郎君～早退いたします。

本日 ¥4,000 累計 ¥798,500

「豊岡大学と黒須銀行」

繁田光会員

今日は、私の生まれ育った繁田家の歴史と、入間市にあった黒須銀行と豊岡大学のお話をさせていただきます。繁田家は1628年(寛永5年)、甲斐の武田信玄支属として武蔵国黒須に移住して来ました。江戸時代は名主として裁判や年貢徴収をしておりました。1812年には、第10代武兵衛満該が醤油の醸造を開始し、私の会社の繁田醤油が創業されました。近代の繁田家の歴史を話す上で良く出てくる武平満義は満該の次男で第12代になり、その長男が笠幡の発智家に養子に出て発智庄平となり、後に霞ヶ関カンツリークラブの創立に深く関わりました。豊岡町長を26年勤めた第13代武平翠軒は満義の次男で、兄の発智庄平と黒須銀行を設立、豊岡公会堂の建設を進め、豊岡大学を開講しました。



明治16年には明治天皇が繁田家に行幸されました。陸軍大演習の際の休憩所として立ち寄られ、所沢の二上さんで謹製された日の丸弁当を狭山茶の玉露とともにお召し上がりになり、お茶を飲んだ後、一言「うまい」と仰せられ、後に繁田本家は皇居の茶園の管理を昭和30年代まで続けてきたそうです。

醤油の製造も拡大していき、明治45年には3420石と埼玉県で一番大きな醤油蔵となりました。これから昭和40年代まで、13800石まで増産して生産を拡大しました。昭和50年代に入ると、工場周辺の急速な宅地化により生産が困難になり、また醤油の国内消費も減少の一途を辿り、現在の醤油生産はごく僅かとなり、製造部門は「金山寺なめもの」を主力とし、第二工場跡地で温浴事業を展開する他、スーパーバリューをテナントにしたリバーパークショッピングセンターや、ワタミの介護のレストヴィラ入間、ナポリのかまど等の不動産賃貸事業を中心に事業を展開しております。

本題の黒須銀行と豊岡大学ですが、これには埼玉県出身の渋沢栄一が深く関わっており、繁田家は古くから親交があり、発智庄平、繁田武平の兄弟は師と仰ぎ、折に触れて諸々相談し尊敬していました。資本主義の父と呼ばれ、第一国立銀行ほか500社以上の会社の設立や、社会事業にも熱心で日本赤十字、一橋大学の設立にも関与し、福祉や教育にも注力しました。黒須銀行は、明治32年に渋沢栄一の助言により、発智庄平、繁田武平翠軒、高山俊吾、滝沢弁吉等を役員として設立されました。

それ以前に、黒須信用組合が設立されており、集まった資金をもとに黒須銀行に発展しました。資本家や企業家が利益の為に設立した他の銀行と違い、道徳を基準として集まった、中産以下の人々が勤労によって得た資金をもとに設立された銀行として特色があり、役員間の意見対立もあったものの、堅実主義で運営されたため、大正末期の銀行取付騒動も乗り切りました。国家の方針で武州銀行と合併するまで、当初の資本金20万円から300万円まで増資をし、県内でも屈指の銀行に発展し武州銀行、埼玉銀行、あさひ銀行、埼玉りそな銀行入間支店として、現在も地域の発展に寄与しております。

黒須銀行には、創業15年を記念して、渋沢栄一みずから筆をとった、「道徳銀行」の扁額がありました。これは、渋沢栄一が著書「論語と算盤」で著した、「経済と道徳を両立する」という考えを銀行運営に忠実に反映させている事に、いたく喜んで揮毫されたと伝わっております。現在は、繁田家より埼玉りそな銀行に寄贈され、社長応接室に掲げられております。

豊岡大学は大学といっても現在のような大学ではなく、社会人向けの公開講座のようなものでした。豊岡町長在任中に、社会教育の道場となるべく公会堂の建設が必要と周囲に説くも、強い反対にあって繁田武平翠軒は、渋沢栄一邸に赴き相談したところ、浦和にも川越にもない公会堂を、豊岡が最初に作るのはいいことだと、その場で1千円の寄付を頂き、それにより反対意見も無くなり、町民からの寄付や、繁田武平翠軒も町長給与を積み立て資金を寄付し、1923年(大正12年)に完成しました。豊岡大学は、この豊岡公会堂を利用し、1925年(大正14年)に開学し、年間2回、200人から400人の近隣在郷の青年が参加し、昭和14年まで、25回にわたり開催されました。講師は、豊岡出身の衆院議長粕谷義三、総理大臣犬養毅、憲政の神様尾崎行雄、武士道の新渡戸稲造、東京市長後藤新平、国民新聞社長徳富蘇峰等、当代随一の講師を招聘し、青年教育に寄与しました。

これは、経済の発展には、教育の浸透が必要との、町長在任中の考えを実現したもので、ここにも渋沢栄一の影響が大きくなっています。この様に、繁田武平翠軒ら、繁田家や豊岡の人々は、黒須銀行と豊岡大学という、近代資本主義の発展の為に理想を実現した他、埼玉育児院、豊岡保育園も設立し、道徳による社会発展を実現するべく、尽力しました。現在の入間市にも、その精神は深く根付いており、これからも発展をしていくことを願い、私からのお話とさせていただきます。

◆回覧、配布物

- ①ガバナー月信 4月号 ②ハイライトよねやま 18 ③5/14 創立 55周年記念式典例会出欠表
- ④5/28 日帰り美術館めぐり出欠表 ⑤国際ロータリー加盟証状伝達式ご案内 ⑥2015~16年度ネパール奨学里親申込み確認 ⑦ポリオワクチン開発 60周年について ⑧加藤会長「論語」解説
- ⑨他クラブ週報 ⑩本日の卓話資料 ⑪入間RC週報 38, 39号